にほんご がくしゅう しえん ちゅうしん
日本語の学習支援を中心にした
いぶんか こうりゅう ば
異文化交流の場

こくさいこうりゅうのかい
かいづ国際交流の会

「かいづ国際交流の会」の概要

★発足年月日

へいせい ねん がつ にち げんざい ねんめ
平成23年4月1日（現在14年目）

ねんまえ にほんごきょうしつ ぶんり どりつ
※6年前に「ひらた日本語教室」が分離・独立

★活動の目的

かいづしないがい きょじゅう がいこくせき かたがた にほん せいかつ すこ はや てきおう あんしん あんぜん く
海津市内外に居住する外国籍の方々が日本での生活に少しでも早く適応し、安心・安全に暮らしていけるようにさまざまな支
えん こうりゅう おこな にほんごがくしゅうしえん にほんせいかつしゅうかん ぶんかてきとくちょうでんたつ たが ぶんか こうりゅう か もの きょうせいてつづ つういん せ
い 援・交流を行う。（日本語学習支援、日本の生活習慣や文化的特徴の伝達、お互いの文化の交流、買い物・行政手続き・通院の生
かつしえんなど
活支援等）

★活動日時・活動場所

まいしゅうにちようび じ じ かいづしぶんか
毎週日曜日13時～16時 海津市文化センター

★会員数（令和7年1月末時点）

こうしゅうせい にん こくせき
講習生20人（国籍 → ベトナム・インドネシア・スリランカ・パキスタン・ネパール・ミャンマー）

こうし にん
ボランティア講師16人

ねんまえ ぶんり どりつ にほんごきょうしつ しょうにんずう かつどう かいいんすう たびたびへんどう
6年前に分離・独立した「ひらた日本語教室」もやや少人数で活動 ※会員数は度々変動あり。

★会費

こうしゅうせい とも ねん えん つきわり えん
講習生、ボランティア共に年1200円（月割り100円）

かつどうふうけい にほんごがくしゅう てつだ かつどう
活動風景（日本語学習の手伝い） ※メインの活動

にちじょうかいわ にほんごのうりよくしけん たいさく あ たいおう
日常会話や「日本語能力試験」対策など、それぞれのニーズに合わせて対応。

わたし かい かつどう こ う い ほか にほん せいかつしゅう
私たちの会のメインの活動である。お子さんも受け入れ、他にも、日本の生活習

かん でんたつ いぶんかこうりゅう せいかつしえん か もの ぎょうせいてつづ つういんしえんとう
慣の伝達・異文化交流や生活支援として、買い物・行政手続き・通院支援等を

はんい おこな
きる範囲で行う。

かつどうふうけい

活動風景（アクティビティ）

さくら・もみじ・・・

はなみ もみじが にほんどくとく ぶんか ちよくせつふ たいけん
花見や紅葉狩りなど、日本独特の文化に直接触れ、体験。

かつどうふうけい
活動風景 (アクティビティ)

たなばたかい
七夕会にて

なつ さか き たなばたかざ つく
夏の盛りには、ユカタを着たり、七夕飾りを作ったり、
ぼんおど たいけん たの
盆踊りを体験したりして楽しむ。

かつどうふうけい
活動風景 (産業感謝祭出店)

さんぎょうかんしゃさいしゅってん
さんぎょうかんしゃさいしゅってん

しゅってん
出店したり、ステージでパフォーマンスを披露したりして、
かい かつどう しみん みな
会の活動を市民の皆さんにアピールする。

かつどうふうけい か ぞ たいけん
活動風景 (書き初め体験)

き い かんじ
お気に入りの漢字で
か ぞ たいけん
書き初めを体験！

かつどうふうけい ねんし かい

活動風景 (年始の会)

ねんし かい もち たいけん もち

年始の会では、餅つきを体験し、つきあがった餅をみんなでいただいたり、

カルタ^と取りをしたり、ビンゴ^{たいかい}大会をしたりして楽しむ^{たの}。

た かつどう
その他の活動より

ちやくかい
お茶会

けんしゅうりょこう
研修旅行

しょうぼうしょ ぼうさいきょうしつ
消防署の防災教室

がいこく てづく かし
外国の手作りお菓子

やさい しゅうかくたいけん
野菜の収穫体験

けいさつしょ あんぜんきょうしつ
警察署の安全教室

わたし かつどう かいけつ かだい
私たちの活動で解決したい課題

きたい せい
&期待できる成果

はたら せだい りゅうしゅつ しょうしか こうれいかなど かそか すす かいづし ふ
働く世代の流出・少子化・高齢化等によって過疎化が進む海津市において、増え
つづ がいこくせき かたがた げんざいはたら せだい ちゅうしん にんきょう ざいせき しみん あいだ そんざい
続ける外国籍の方々（現在働く世代を中心に1100人強が在籍）と市民の間に存在す
る「心配や偏見」・「疎外感」

さまざま かつどう そうご あいだ ふきょうわ かいしょう たぶんかきょうせい りかい
様々な活動をすることで相互の間の不協和が解消され、「多文化共生」への理解
ふか ちいき こうけん きうん たか
が深まるとともによりよい地域づくりに貢献しようとする機運が高まる。